

Rotary International District 2630 2020-2021

ガバナー



Governor's Monthly Letter

Rotary



ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー 第2630地区

2020-2021年度 ガバナー 劔田 廣喜

ガバナー事務所

〒506-0011 岐阜県高山市本町1-2 飛騨信用組合 本町サテライト出張所 3階

TEL 0577-32-2630 FAX 0577-36-1488 URL <https://www.rid2630.jp/> E-mail 2021@rid2630.jp



高山市街 雪の宮川 中橋付近

## Contents

- 劔田ガバナーメッセージ
- 職業奉仕委員会 原尾 勝 委員長メッセージ
- コロナ禍でのクラブ運営
- 社会奉仕事業 津RC  
「知的障害者(児)施設入所支援事業所へのマスク寄贈」
- 第2630地区 会員数報告
- 第2630地区 会員動静報告
- コーディネーターニュース 1月 Vol.1, Vol.2

1

January 2021 Vol.7

第2630地区のHPは  
スマートフォンでも  
ご覧いただけます





## 新春所感

2020-21年度  
RI第2630地区ガバナー

劔田 廣喜 (高山中央RC)

第2630地区のロータリアン並びにご家族の皆様にはお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

一年前、アメリカ、サンディエゴの国際協議会において、中国の武漢からウイルスが出たと言うニュースを初めて聞きました。それが新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)により引き起こされたパンデミックの始まりであります。潜伏性の高いウイルスの特性から、全世界が感染症の危険に晒され、ロックダウンや入国制限、オリンピック延期など、人類が過去に経験していない事態に陥ることとなり、パンデミックを収束させるために実施されたロックダウンなど各種政策において世界の体制に大きな変化を及ぼしました。

経済的にも打撃は大きく、国際通貨基金(IMF)は、2020年の世界GDP成長率が-4.4%になるとの予測を発表しました。この負の成長率は2008年のリーマン・ショック時の-0.1%を遥かに超える値で、1929年の世界恐慌(当時の世界GDP成長率は-15.0%)以来の大恐慌となり、各界でコロナ・ショックとも称されました。新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために多くの国で、人と人が接触する機会をできるだけ減らす「社会的距離戦略」が実施され、オンライン環境を使ってデリバリーやリモートコミュニケーションなどの「シャットイン(家に閉じこもる)経済」と名付けられたビジネス分野が登場しました。新しいサービスの実践が始まり、外出時はソーシャル・ディスタンスを確保するなど、世界経済はITを最大限活用する方向に変化しています。幸い治療薬やワクチンなどの実用化に向けて明るい兆しはあるものの、未だに先の見えない状況が続いています。

ロータリーも例会や会合が開けない、奉仕活動や親睦活動が出来ない機能不全に陥り、コロナを理由に退会される会員が増えるのではないかと懸念しております。

100年に一度のパンデミックに遭遇したことは不幸なことだと思いますが、人それぞれが生まれる時代を選ぶことは出来ないのですから、戦争の時代でなくて良かったと考えるべきだと思います。幸福を望むのであれば今の時代で「どう生きるか・どう歩むか」が問われるはずで、困難の中に、機会がある(アインシュタインの言葉)、ピンチはチャンスということです。困難に立ち向かっているときこそ、いろいろな機会があります。自分が成長する機会・新しい自分を見つける機会・新たな発見をする機会・何かを達成する機会・いろいろな機会があります。

自分が生きる時代から学んだことを後世に伝えていけるように、よりよい人生と未来を切り拓けるように、困難に立ち向い日々何かを感じ得ていきたいと思います。

ロータリーにおいても、本質を見つめ、ロータリーとは何かを考える事が必要だと思います。それはロータリーの思想の原点に立ち返ることによって今のロータリーの在り方を正しく評価することが出来るからです。

ロータリーとは何か、それは、ロータリアンの事でも、ロータリークラブの事でも国際ロータリーの事でもありません。これら目に見えるものは、目に見えないものに支えられているのです。この目に見えない本質に内的な価値を構築すれば、ロータリーはロータリーであり続けると思います。



# コロナ禍での委員会活動について

2020-21年度 RI第2630地区  
職業奉仕委員会 委員長

原尾 勝 (岐阜北RC)

7月から劔田ガバナー年度が始まりましたがこのコロナ禍での活動をどうするべきか大いに迷っています。

各クラブから依頼が有りました卓話要請も状況を見ながら、「中止にさせて下さい」との連絡を戴く等、思うように活動が出来ません。職業奉仕の考え(理念)を根幹とするロータリーの理念の素晴らしさを皆様にどの様にお伝えしたら良いのか…?

卓話が無理ならセミナーを開催して皆様に聞いて戴くのが一番だと思うのですが…。よって12月に職業奉仕研修セミナーを開催する方向で準備を進めて参りました。

この原稿を11月に書いていますが今、寒さと共に一気にコロナ感染者が急増(東京で500人超え、愛知で200人超え)となり、一番心配していた想定外の処で出始めましたので「セミナーの中止」を決定致しました。いずれにせよ実施する場合と中止にする場合の2面での準備を進めて参りました。「こんな時期に何故やるの?」と言うご意見も戴きました。

普通のロータリアンだった私が職業奉仕の理念の素晴らしさを知って目覚めた様に一人でも多くの方に知って戴きたい。ただ、それだけです。そしてガバナーの考え、思いを委員会活動に反映して活動しますので、劔田ガバナー年度でしか出来ない活動があります。

11月に委員会を開催しましたが色んな意見が有りました。当然です。多くのロータリアンの方にこの職業奉仕の理念を根幹とする

ロータリーの理念の素晴らしさを伝えたいという思いはありますがロータリアン一人ひとりの健康、安全が最も重要ですので、それを優先致しました。

セミナーでお会い出来ないなら是非、皆さんの例会にお邪魔してお話をさせて戴きます。卓話に呼んで下さい。(コロナの状況によりますが)1月は職業奉仕月間ですのでクラブフォーラムでお話をさせて下さい。職業奉仕は、皆様の人生の道標になります。これからも職業奉仕を宜しくお願い申し上げます。

### コロナ禍での例会運営について

幹事

中村 基記（伊勢中央RC）



当クラブにおいては、新型コロナウイルスの感染拡大がはじまった3月より5月まで例会を中止とさせていただきました。誰もが経験したことのない状況の中で、ロータリーにとって最も重要である例会開催の中止は、苦渋の決断であったと思います。この決断は、2019-20年度山川会長以下当時の理事会において侃々諤々の議論の上での結論でした。前年度は、創立30周年の記念すべき年度でもあり、本年4月25日には記念式典を開催する予定でありました。年度当初より周年事業の実行委員会も組織され、その準備を全メンバーで進めて来ましたので例会開催の中止は、尚更重い決断でもありました。当然のことながら、30周年記念式典の開催も中止を余儀なくされましたので、前年度山川会長の無念さは心中察するに余りあるものでありました。年度最後の6月には、食事は持ち帰り形式などの感染防止対策に努めることで例会を再開し、2019-20年度を締めくくることがなりました。

これを受け2020-21濱千代会長年度は、年度当初より三密を回避する為、例会場を大きな会場に変更し、テーブルをスクール形式に配置するなど席の間隔を取り、換気に努めさせていただくことで現在まで継続して通常通りの例会を開催しております。毎月の理事会において、次月の例会開催の是非を議論し欠席者についても出席免除措置を取らせていただいております。幸いにも現在でも常に80%以上の出席率となっております。常に地域の感染情報には注意をはらい、毎週の三役会、毎月の理事会において柔軟に対応できる体制も取っております。

例会の開催は、クラブにとってもメンバーにとっても掛替えのない機会です。開催する為のあらゆる方法を模索しながら残りの年度も運営して行く方針です。

### コロナ禍でのクラブ運営について

会長

河合 清文（高山RC）



コロナ禍でのクラブ運営を考えるにあたり、ポイントとなる点はいくつか、ありました。

まず、感染防御の点から、通常の例会の進行をどうするかと言う事でした。例会場は広い会議室であり、三密を避けやすい環境ですが、さらに感染防御に配慮して行っております。具体的には、入室時の手指消毒はもとより、ロータリーソングは流すものの、唱和はせず、イメージングのみです。会員の配置は、机で島を作り、十分なソーシャルディスタンスをとっております。食事は提供しております。食事以外はマスクを着用しており、食事時間も15分と短く、会話も限られており、感染防御の点からは、会食というよりは学校給食と同等の状況と考えられるからです。演台にはアクリル板の仕切りを設置しマスクを外してスピーチしております。マスク着用では演者の表情等が見えず十分な意思疎通ができないと思われるからです。透明マスクと言う方法もありますが、感染予防効果は十分とは思われず、アクリル板にしました。例会は、通常どおり、中止することなく、行われております。しかし、今後、再度の緊急事態宣言の発令や、当地区での感染が顕著になれば、中止のやむなき至ると考えております。次に、家族同伴例会等の懇親会を伴う例会をどうするかということでした。今年度の例会の予定を組む際に、全て中止すると言う選択肢もありました。しかし、当時はまだ、新型コロナウイルスそのものが良く分かっておらず、その後の、感染の波及状況も予測がつかみませんでした。そこで、流行の状況を見ながら開催の可否を判断する事にしましたが、会場予約等の事もあり、苦慮しております。

外へ向けての活動、例えば出前講座等は感染防御の点から、相手側の希望もあり、中止のやむなきに至っております。

色々な制約を受けての今年度のロータリー活動ですが、職業奉仕という理念は如何なる状況でも遂行できます。この点、今こそ、ロータリーの本領を発揮する時であると思われれます。

## 津ロータリークラブ

### 「知的障害者(児)施設入所支援事業所へのマスク寄贈」

2020年11月4日(水)、津ロータリークラブ第3446回例会において、津市内の知的障害者(児)施設入所支援事業所に感染症対策のためのマスク10,000枚を寄贈致しました。知的障害者(児)支援施設では、新型コロナウイルス感染症等が発生しても医療関係機関と同様に施設の閉鎖ができず、そのために職員の感染症対策の徹底が必要不可欠です。インフルエンザの流行期を迎えるこの時期に、社会奉仕活動の一環として行いました。

事業所を代表して三重県知的障害者福祉協会・井村裕副会長は、「施設にいる知的障害者の高齢化が進み、老人福祉施設と同様の感染防止策が必要であり、福祉に対するご支援に感謝申し上げます」と述べられました。

この寄贈には、公共イメージ委員会のロータリーPRマスクを活用し、津市内の9事業所に配分され、職員と入所者の皆様に配布され、活用されることになります。

幹事 別所 信啓  
雑誌広報委員長 倉田 栄治



支援物品 (マスク10,000枚)



贈呈式 (左：竹林憲明会長、右：井村裕副会長)

# 国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2020年11月分

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			前期末	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑名	桑名	3	38	0	38	0	0	0
	桑名西	2	33	0	35	0	2	0
	桑名中央	3	30	1	30	1	1	1
	桑名北	2	29	8	31	8	2	0
	グループ計(4)		130	9	134	9	5	1
四日市	四日市	4	90	1	93	2	6	3
	四日市北	3	21	5	24	5	3	0
	四日市西	4	68	4	74	4	6	0
	四日市南	4	39	4	39	4	0	0
	四日市東	3	37	0	36	0	0	1
	グループ計(5)		255	14	266	15	15	4
鈴鹿・亀山	鈴鹿	4	68	10	68	10	1	1
	鈴鹿西	3	36	7	37	7	2	1
	鈴鹿ベイ	2	13	0	13	0	0	0
	亀山	4	15	0	15	0	0	0
	鈴鹿シティ	4	64	3	66	3	2	0
	グループ計(5)		196	20	199	20	5	2
中勢・伊賀	津	4	64	0	65	0	1	0
	上野	3	37	2	37	2	0	0
	名張	4	35	1	35	1	0	0
	津南	3	46	2	46	2	1	1
	津北	4	48	3	50	4	3	1
	上野東	3	37	2	37	2	0	0
	久居	3	27	1	27	1	0	0
	名張中央	4	21	2	21	2	0	0
	グループ計(8)		315	13	318	14	5	2
	松阪・東紀州	松阪	4	74	0	74	0	1
松阪東		4	63	10	63	10	2	2
熊野		4	32	5	32	5	0	0
尾鷲		3	11	2	11	2	0	0
松阪山桜		3	35	3	37	3	2	0
グループ計(5)			215	20	217	20	5	3
伊勢・鳥羽・志摩	伊勢	2	56	0	57	0	1	0
	鳥羽	4	29	3	30	3	1	0
	伊勢南	4	44	4	46	4	2	0
	志摩	3	49	11	49	12	1	1
	伊勢中央	3	48	0	50	0	2	0
	伊勢度会	3	15	4	15	4	0	0
	グループ計(6)		241	22	247	23	7	1
三重県合計(33)		1,352	98	1,381	101	42	13	

## ■2019年11月(前年度)出席報告

	期首	月末	うち女性	増減
三重県合計(33)	1,405	1,432	103	27
岐阜県合計(42)	1,784	1,851	76	67
地区合計(75)	3,189	3,283	179	94

(注)グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			前期末	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐阜A	岐阜	4	74	0	85	2	13	2
	岐阜西	3	53	0	51	0	0	2
	岐阜長良川	4	47	0	47	0	1	1
	岐阜北	3	37	2	38	2	1	0
	岐阜中	3	30	1	30	1	0	0
	グループ計(5)		241	3	251	5	15	5
岐阜B	岐阜南	3	97	12	91	10	0	6
	岐阜東	3	49	2	52	2	3	0
	岐阜東南	4	42	0	39	0	0	3
	岐阜加納	4	76	3	79	3	5	2
	岐阜エトス	3	22	2	22	2	0	0
	岐阜城	2	19	1	19	1	0	0
グループ計(6)		305	20	302	18	8	11	
岐阜西濃	大垣	3	86	2	88	3	4	2
	大垣西	2	73	0	73	0	0	0
	本巣	3	27	0	31	0	4	0
	羽島	3	30	4	30	2	0	0
	不破	3	27	0	27	0	0	0
	大垣中	2	51	0	54	1	3	0
	大垣センチュリー	2	57	3	57	3	0	0
	岐阜淡墨	2	16	1	16	1	0	0
	岐阜サンリバー	4	16	4	16	3	0	0
	グループ計(9)		383	14	392	13	11	2
岐阜東濃	多治見	4	48	4	51	4	4	1
	中津川	4	70	2	73	2	4	1
	瑞浪	3	56	1	57	1	2	1
	恵那	2	47	1	49	2	2	0
	土岐	3	40	1	40	1	0	0
	多治見西	3	30	4	30	4	1	1
	中津川センター	4	53	1	55	1	2	0
	多治見リバーサイド	3	39	1	40	1	1	0
グループ計(8)		383	15	395	16	16	4	
東海北陸道	美濃	3	16	0	16	0	0	0
	各務原	2	24	1	24	1	0	0
	関	2	48	2	50	2	2	0
	郡上八幡	4	36	0	38	0	3	1
	関中央	3	33	0	32	0	0	1
	郡上長良川	4	32	5	32	5	0	0
	各務原かかみの	2	4	0	4	0	0	0
グループ計(7)		193	8	196	8	5	2	
濃飛	高山	4	38	0	41	0	5	2
	下呂	3	26	0	27	0	1	0
	高山西	2	36	2	37	2	2	1
	美濃加茂	4	37	8	38	8	1	0
	可児	4	37	1	35	1	0	2
	高山中央	4	58	5	58	5	1	1
グループ計(6)		232	16	236	16	10	6	
岐阜県合計(41)		1,737	76	1,772	76	65	30	
地区合計(74)		3,089	174	3,153	177	107	43	

# 会員動静報告（敬称略）

2020年11月分

## 受章

松阪山桜RC



**太田正隆**  
三重県救急医療  
功労者表彰

## 入会会員

桑名中央RC



**玉城 保**  
2020.11.6入会  
人材派遣業

鈴鹿RC



**田辺孝弘**  
2020.11.4入会  
信用金庫

鈴鹿西RC



**伊藤雅文**  
2020.11.10入会  
障害者支援施設

津南RC



**廣瀬裕司**  
2020.11.10入会  
旅行業

伊勢RC



**川上貢司**  
2020.11.10入会  
地方銀行

岐阜RC



**児玉美奈子**  
2020.11.6入会  
電話事業

岐阜RC



**水谷泰三**  
2020.11.13入会  
書籍配布

大垣RC



**田中哲也**  
2020.11.25入会  
電気事業

多治見RC



**安藤 工**  
2020.11.4入会  
陶芸家

下呂RC



**吉本拓也**  
2020.11.16入会  
屋外広告業

## 逝去会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

四日市東RC



**井村 元**  
1995.5.22入会  
2020.11.21逝去  
チャーターメンバー、  
2011-2012年度会長、  
ベネファクター、  
マルチプル・ポール・  
ハリス・フェロー、  
米山功労者

津北RC



**江間昭次**  
1983.3.1入会  
2020.11.18逝去  
2005-06年度会長、  
ベネファクター、  
マルチプル・ポール・  
ハリス・フェロー、  
第3回米山功労者

岐阜長良川RC



**梅田朝彦**  
1992.2.15入会  
2020.11.21逝去  
2014-15年度会長、  
マルチプル・ポール・  
ハリス・フェロー、  
米山功労者2回

大垣RC



**土屋 嶠**  
1986.10.22入会  
2020.11.4逝去  
2005-06年度会長、  
2006年ベネファクター、  
1997年第3回米山功  
労者マルチプル、  
1994年ポール・ハリ  
ス・フェロー

## ガバナー月信表紙説明

中橋（なかばし）は岐阜県高山市本町一丁目と上三之町を結ぶ橋。宮川に架かる。擬宝珠や欄干をそなえ、全体を朱色にまとった特徴を持つことから赤い中橋（あかいなかばし）とも呼ばれる。

春の高山祭（山王祭）期間中における、屋台が中橋を通る姿をとらえた写真などで有名である。

周辺は桜や柳の木が並び、飛騨高山のシンボルとして観光名所のひとつに挙げられる。

周辺には各テレビ局のお天気カメラ設置ポイントとなっている。

出典：フリー百科事典「ウィキペディア (Wikipedia)」

2021年1月号No.1

コロナ禍のなか、それぞれのロータリークラブは、創意と工夫を凝らして必死にクラブ活性化の糸口を探っておられる状況であると思います。12月に入ると、クリスマス例会について、そもそも開催するのか、家族・子供たちも参加させて良いのか、どのようなやり方で開催すれば良いのか、など正解のない世界で議論が繰り返されたのではないのでしょうか。とかく、このような、クラブ内のことに関心が限定されてしまいがちな時期ですが、私の所属する第2770地区には、引き渡しの式典も含め、リモートによるやり取りだけで、現地への訪問なしに、集中治療室に設置する医療機器を地区補助金を使ってモンゴルに寄贈したクラブがあります。さいたま大空ロータリークラブという米山・財団学友が中心メンバーであるクラブです。このクラブが国際性豊かなクラブであったからこそ実現できたという面もあるのかも知れませんが、大いに見習うべきことであると思います。海外の姉妹クラブとの間で、リモートを使って近況報告をすること、例会の様子を伝え合うことなども意義のあることだと思えます。

会員増強も、人との接触の機会が減っている現在、思うに任せない状況が続いていることと思います。こんなときこそ、SNSを活用して、クラブの情報などを地域に積極的に流していくことは重要だと思えます。地区バイク同好会のツーリングの様子やクリスマスプレゼントを配るサンタの姿をYouTubeで流してみたいと思っています。

皆様とともに、いろいろなアイデアを出し合って、ロータリーの輝きが失われないように活動していきましょう。多様な職種の間が集まり、様々なノウハウを持つ我々ロータリアンには、今こそ、期待される役割があるように思います。

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐  
浅水 尚伸 (越谷南RC)

2021年1月号No.2

新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見えないまま、年末年始にかけ増加傾向の様子を呈し、クラブの例会もなかなか思うように運営できない状況にあります。

しかし、今まで経験したことのないコロナ禍の中でも、我がロータリアンは多くの財団の資金を活用し、医療従事者への支援、又医療機器などを提供し活発な活動を行っていることに敬意を表すると共に、その活動を広く人々に知って頂きたいと考える次第であります。

さて国際ロータリーにおいては、2016年の規定審議会によってクラブ委員会に「公共イメージ委員会」等の設置推奨がクラブ定款に記載されることとなりました。実際、ロータリーは一般社会において認知度がまだまだ低く、どのような活動をすれば認知度を上げることができるのかを、かなり絞り込んで地区及び各クラブで考えていかなければなりません。今までの所、公共イメージとしてソーシャルメディアへの投稿、ラジオ、テレビ等への働きかけを以前より活発に進めております。具体的には、ポリオ根絶に対しNHKへの積極的な対応、ロータリアン個々においても、ボランティア活動を逐一フェイスブック等にアップしたりしております。私としては、玉石混交ではありますがユーチューブがこれからのアイテムとして説得力があると考えています。

また、「公共イメージ」を高める方法として一番取り組みやすいのは、世界ポリオデーに因んだイベントや活動を地区単位、クラブ単位で行なっては如何でしょうか。ロータリアン、ローターアクト、インターアクト、青少年交換学生、米山奨学生が参加することにより、地域社会の方々に対してもロータリーの認知度も上がります。

RIに登録された世界ポリオデーのイベント数では、ブラジル575件、アメリカ348件、ナイジェリア187件、メキシコ164件、ベネズエラ157件、日本は14件となっております。まだまだ日本国内におけるポリオの意識がこのように低い現実を知り、次年度はぜひ世界ポリオデーを活用したイベントの開催を進めて頂きたいと思えます。

今までは他のボランティア組織に比べ、アピールが控えめでも地道に成果を上げれば地域社会での参加者が増えてきておりましたが、現在は世の中の変化に適應し積極的に発信する事が急務と痛感しております。

ただ、現在のコロナ感染拡大の最中において行動の制限など閉塞感が拭えませんが、こういう時こそ各クラブにおいて真剣に考えて頂きたい視点であります。時には、イメージ戦略、マーケット戦略の専門家などのノウハウを見聞きしながら、コロナが落ち着いた時にすぐ行動できるように具体的なアイデアを出し合えば、さらなる進化が待っていることと確信しております。

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐  
保延 輝文 (石岡RC)

2020-2021年度 地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務局 案内

<b>地区事務所</b>	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30-17:30 (土・日・祝日 休務)
<b>ガバナー事務所 地区大会事務局</b>	〒506-0011 岐阜県高山市本町1丁目2 飛騨信用組合本町サテライト出張所3F FAX 0577-36-1488(共通) (ガバナー事務所) TEL 0577-32-2630 E-mail 2021@rid2630.jp (地区大会事務局) TEL 0577-32-1166 E-mail 2021taikai@rid2630.jp	執務時間 10:00-16:00 (土・日・祝日 休務)